

第143回 日本輸血・細胞治療学会 関東甲信越支部例会 プログラム

日時：平成29年2月18日（土曜日） 13時30分～17時30分

（例会開催施設の補助により会員、非会員問わず参加費無料）

場所：獨協医科大学 関湊記念ホール（駐車場無料） 〒321-0293 栃木県下都賀郡壬生町北小林880

TEL：0282-86-1111（代表）、0282-87-2187（直通） URL：<http://www.dokkyomed.ac.jp>

例会長：三谷 絹子（獨協医科大学病院 輸血部）

I 一般演題

座長：和泉 透（栃木県立がんセンター 血液内科）、

坂口 武司（防衛医科大学校病院 輸血・血液浄化療法部）

1. 母体搬送前にフィブリノーゲン製剤を使用した弛緩出血の1症例
藤野 佐保、他（東京都立墨東病院 産婦人科）
2. 末梢血幹細胞採取における前処置レジメンとしてのCHOP, R-CHOP療法の有効性の検討
—31例の解析—
高橋 渉、他（獨協医科大学病院 輸血部）
3. 同種抗体産生防止を目的として解凍赤血球を輸血した一症例
土屋 貴絵、他（防衛医科大学校病院 輸血・血液浄化療法部）
4. 当院におけるアルブミン管理の現状と課題について
山本 喜則、他（帝京大学ちば総合医療センター 検査部）
5. 当部におけるアルブミン製剤運用の開始
菅野 直子、他（自治医科大学附属病院 輸血・細胞移植部）
6. 「異なる時点での2検体による血液型確定」の徹底から約6年を経過して
山崎 かおり、他（(株)日立製作所 日立総合病院 検査技術科）
7. 当院における輸血検査内部精度管理の取り組み
櫻井 朋美、他（東海大学医学部附属病院 臨床検査技術科 輸血室）
8. 輸血後感染症検査の取り組み
谷 祥子、他（栃木県立がんセンター 検査技術科）
9. 長野県献血推進協議会輸血療法部会における取り組み
—5年間のアンケート調査よりみえた実態—
五味 高志、他（長野県献血推進協議会輸血療法部会 事務局、他）

テーマ：「輸血療法における精度管理向上を目指して」

II 教育講演

座長：篠原 茂（獨協医科大学病院 輸血部）

「輸血用血液製剤の製造管理・品質管理」

演者：名雲 英人（日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター 品質保証部）

III 特別講演

座長：三谷 絹子（獨協医科大学病院 輸血部）

「CD34陽性細胞定量の施設間差に関する検討」

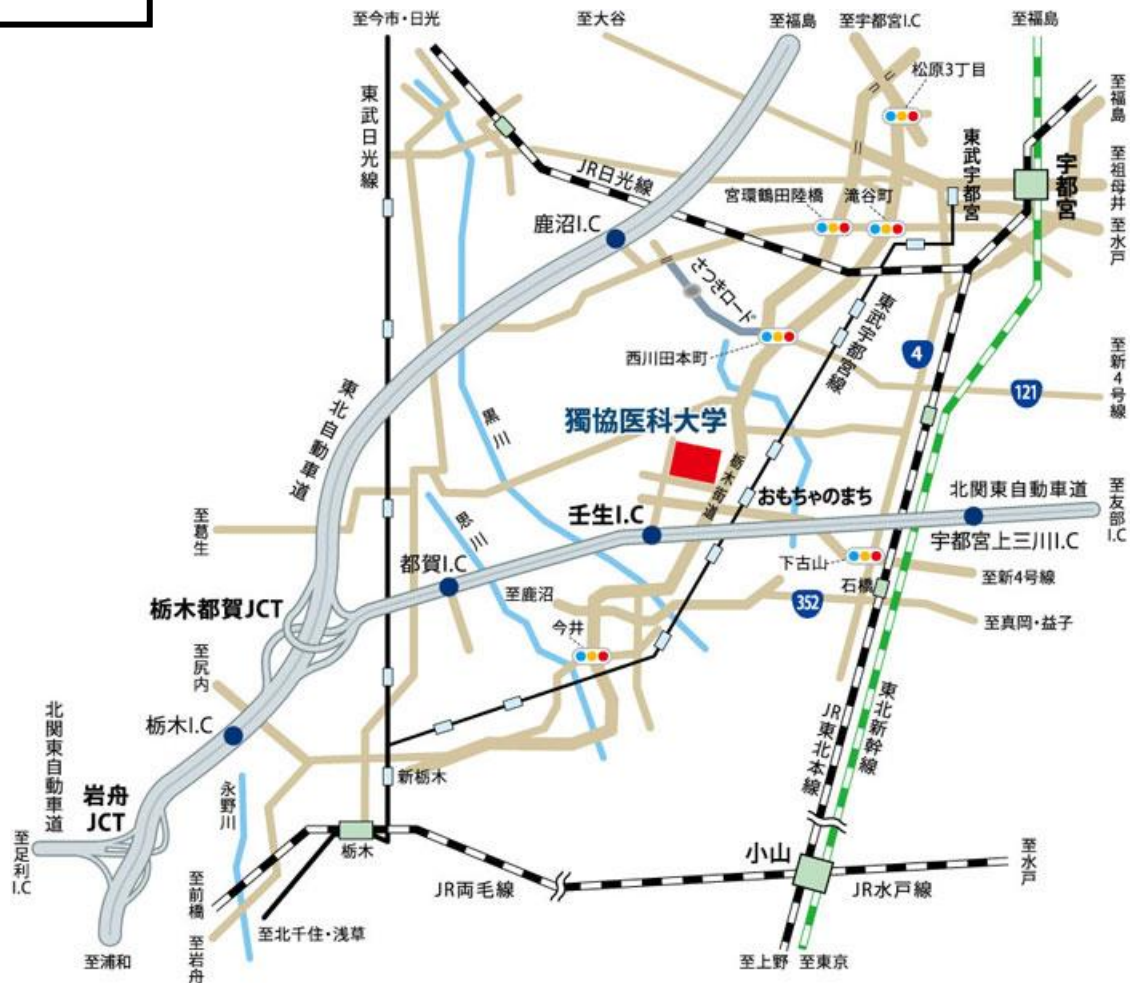
演者：原口 京子（がん・感染症センター 都立駒込病院 輸血・細胞治療科）

IV シンポジウム 「輸血検査の外部精度管理」

座長：松山 智洋（芳賀赤十字病院 血液科）、梶田 幸夫（桐生厚生総合病院 中央検査部）

1. 病院機能評価 五十嵐 健一（JAとりで総合医療センター 臨床検査部）
2. I&A 小幡 隆（自治医科大学附属病院 輸血・細胞移植部）
3. ISO15189 篠原 茂（獨協医科大学病院 輸血部）

アクセス



車をご利用になる場合 (駐車場は無料です。駐車券を会場までお持ちください。)

- ★ 東北自動車道から栃木都賀 JCT 経由、北関東自動車道「壬生 IC」から約 2 分
- ★ 外来駐車場(約1200台収容)にお停めください

電車をご利用になる場合

- ★ 東武宇都宮線「おもちゃのまち駅」下車 徒歩約15分またはバスで約3分
 《浅草駅より》 東武線特急スペーシアで「栃木駅」(約70分)へ
 「栃木駅」で東武宇都宮線に乗り換え「おもちゃのまち駅」(約25分)へ
 《宇都宮駅より》 市内バスで「東武宇都宮駅」(約10分)へ
 「東武宇都宮駅」より「おもちゃのまち駅」(約15分)へ
- ★ 東北新幹線「宇都宮駅」より タクシーで約35分 (約5500円)
- ★ JR 宇都宮線(東北本線)「石橋駅」より タクシーで約15分 (約3000円)

